

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	生体防御感染症学 Infectious diseases and host defense	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	--	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋		◎北沢 貴利 松永 直久 (病院准教授)	吉野 友祐 若林 義賢		太田 康男 (客員教授)
-					
-					

	生体防御感染症学Ⅰ (1年次)				生体防御感染症学Ⅱ (2年次)				生体防御感染症学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	<p>基礎的な感染症疾患についての講義・演習を行う。細菌感染症、特に頻度の高い呼吸器感染症、尿路感染症、敗血症を中心に講義を行う。また細菌検査の手順や考え方についても講義を行う。</p> <p>演習では、種々の呼吸器感染症、尿路感染症、敗血症の症例を提示して、検査・診断・治療のアプローチの習得を目指す。</p> <p>実習では、呼吸器感染症や尿路感染症患者の管理方法を習得する。またGram染色などの細菌検査を実習する。</p>				<p>生体防御感染症学Ⅰをさらに発展させて、講義・演習を行う。インフルエンザなどのウイルス性疾患や真菌感染症を中心に講義を行う。また院内感染対策についても講義を行う。</p> <p>演習では、これらの領域の症例を提示して、検査・診断・治療のアプローチの習得を目指す。</p> <p>実習では、病棟実習に加え外来実習も行い、これらの疾患を体験する。またさまざまな院内感染の問題について実際に関与し、その管理方法を習得する。</p>				<p>内科領域以外の感染症を中心に講義を行う。さらに国際的に問題となっている感染症についても概説する。</p> <p>演習では、内科領域以外の感染症、特に皮膚軟部組織、骨および生殖器の感染症の症例を提示して、検査・診断・治療のアプローチの習得を目指す。さらに臨床研究に必要な統計解析についての基礎演習を行う。</p> <p>実習では、院内の他の診療科で問題となっている感染症のコンサルトに対応し、これらの疾患を体得する。</p>			
到達目標	<p>頻度の高い呼吸器感染症、尿路感染症、敗血症について診断・治療ができるようになる。</p>				<p>ウイルス感染症や真菌感染症について診断・治療ができるようになる。基本的な院内感染上の問題について対応できるようになる。</p>				<p>内科領域以外の感染症について、診断や抗菌化学療法ができるようになる。院内の感染症コンサルトに対応できるようになる。</p>			
事前事後学修	<p>関連領域の最新の医学総説に目を通して参加すること。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>関連領域の最新の医学総説に目を通して参加すること。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>関連領域の最新の医学総説に目を通して参加すること。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>発表 50% レポート 50%</p>				<p>発表 50% レポート 50%</p>				<p>発表 50% レポート 50%</p>			

■主な演習(講義・実習含む)

	生体防御感染症学Ⅰ (1年次)	生体防御感染症学Ⅱ (2年次)	生体防御感染症学Ⅲ (3年次)
板橋	火 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 呼吸器感染症	火 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 ウイルス感染症	火 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 骨・軟部組織感染症
	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 細菌検査	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 ウイルス感染症の入院症例の管理	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 骨・軟部組織感染症の入院症例の管理
	火 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 肺炎の症例検討	火 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 ウイルス感染症の症例検討	火 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 蜂窩織炎の症例検討
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

特になし。最新の医学論文を数多く読むことが重要である。

その他履修上の注意事項

講義の中でレポート等の解説などのフィードバックを行う。
本科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

副科目 他の内科学系などの関連領域

共通科目 感染症特論

関連する専門医資格

総合内科専門医、感染症専門医、ICD(インフェクションコントロールドクター)、抗菌化学療法認定医など

キャリアパス(モデルコース)

